

日向市自殺対策行動計画の進捗状況(評価指標)

資料1

分野	評価指標	目標値	取組の進捗状況		
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
全体目標	自殺死亡率 (人口10万対)	R5年11.1 R8年 9.1以下	11.9 (宮崎県19.6、全国16.5)	令和5年10月確定	—
ネット 地域における ワークの 強化	日向市自殺対策推進協議会の開催	年1回	書面開催	令和4年8月3日実施	開催予定
	日向市自殺対策庁内推進会の開催	年1回	書面開催	令和4年6月28日実施	開催予定
	庁内関係部署が連携を円滑に行うために多分野合同研修会の開催	年1回	未実施 (市職員を対象としたゲートキーパー養成研修会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。)	令和4年8月22日(午前・午後)、8月25日(午前・午後)計4回実施 (市職員を対象としたゲートキーパー養成研修会を兼ねる)	継続実施
自殺対策を支える 人材の育成	市民を対象としたゲートキーパー研修の実施	年1回 年間50人以上参加	未実施	未実施 ※健康教育にて、こころの健康に関する講話を実施したが、ゲートキーパー養成研修については実施できなかった。	継続実施
	関係部署・団体等を対象としたゲートキーパー研修の実施	年2回 年間100人以上参加	令和4年3月18日実施 対象:民生委員・児童委員・主任児童委員 参加者数:81人	令和4年12月8日(午前・午後)計2回実施 対象:区長公民館長、傾聴ボランティアスタッフ 参加者数:37人	継続実施
	市職員はゲートキーパー研修を受講	5年後までに 全員受講	未実施 (新型コロナウイルス感染症の影響で中止。)	令和4年8月22日(午前・午後)、8月25日(午前・午後)計4回実施 対象:市職員(会計年度職員等含む) 参加者数:131人	継続実施

分野	評価指標	目標値	取組の進捗状況		
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
市民への啓発と周知	啓発リーフレットの作成・配布	全戸配布・各関係機関等への配布	<p>・3月の自殺対策強化月間に合わせ、日向市こころの電話帳を全世帯配布したほか、市内スーパー、コンビニ、薬局等68箇所や、乳幼児健診に来所する保護者、商工会議所の会報等様々な場面での配布を行い、周知啓発に努めました。</p> <p>・自殺予防週間(9月)、自殺対策強化月間(3月)に合わせパネル展示、リーフレット等の配布を行いました。</p>	<p>相談先一覧を掲載した「日向市こころの電話帳」を作成し、3月の自殺対策強化月間に合わせて全世帯配布したほか、市内スーパー、金融機関、コンビニ、薬局等111箇所に配布しました。</p> <p>自殺予防週間(9月)、自殺対策強化月間(3月)に合わせパネル展示を市役所、図書館で実施し、リーフレット等を配布しました。</p>	継続実施
	担当課・団体が行うイベント等を通じての啓発の実施	少なくとも年1回	自殺予防週間、自殺対策強化月間に合わせたパネル展示、FMひゅうが、広報ひゅうがでの啓発を行いました。(新型コロナウイルス感染症のため、健康まつり中止)	自殺予防週間、自殺対策強化月間に合わせたパネル展示、FMひゅうが、広報ひゅうがでの啓発を行いました。 イベントでは、「はたちのつどい」において、こころの健康に関するリーフレットを配布しました。(新型コロナウイルス感染症のため、健康まつりは中止)	継続実施
	あらゆる機会を通じての健康教育の実施	年10回	新型コロナウイルス感染症の影響により、集団健康教育の機会が少ない状況でした。	こころの健康についての健康教育を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、集団健康教育の機会が少ない状況でした。 実施回数:1回 対象者:30名	継続実施
生きることへの支援	「生きることの促進因子への支援」について各担当課・団体に対し取り組み状況を確認、及び改善すべき課題を抽出し、支援体制の充実を目指します。		新型コロナウイルス感染症の影響で、日向市自殺対策庁内推進会議は書面開催とし、各課事業の実施状況等について、確認を行いました。	令和4年6月28日に、日向市自殺対策庁内推進会議を開催し、各課事業の実施状況等について確認を行いました。	継続実施
いのちを大切に する教育(児童生徒の SOSの出し方に関 する教育等)	「いのちを大切に する教育」の受講	児童生徒に対して 年1回以上	日向市では、始業日の前後1週間程度を「いのちの大切さを考える週間」と設定し、命を大切に する指導を行いました。また、「宮崎県いのちの教育週間」を中心に各学校で「いのちの大切さ」について考える取組を実施しました。	小・中学校において「いのちについて考える日」を設定し、自他の命がかけがえのないものであることや、それ故に大切にしなければならないものであることを子ども達自身に改めて考えてもらえるような指導を行いました。	継続実施